

いそファミ通信

11. 12月号

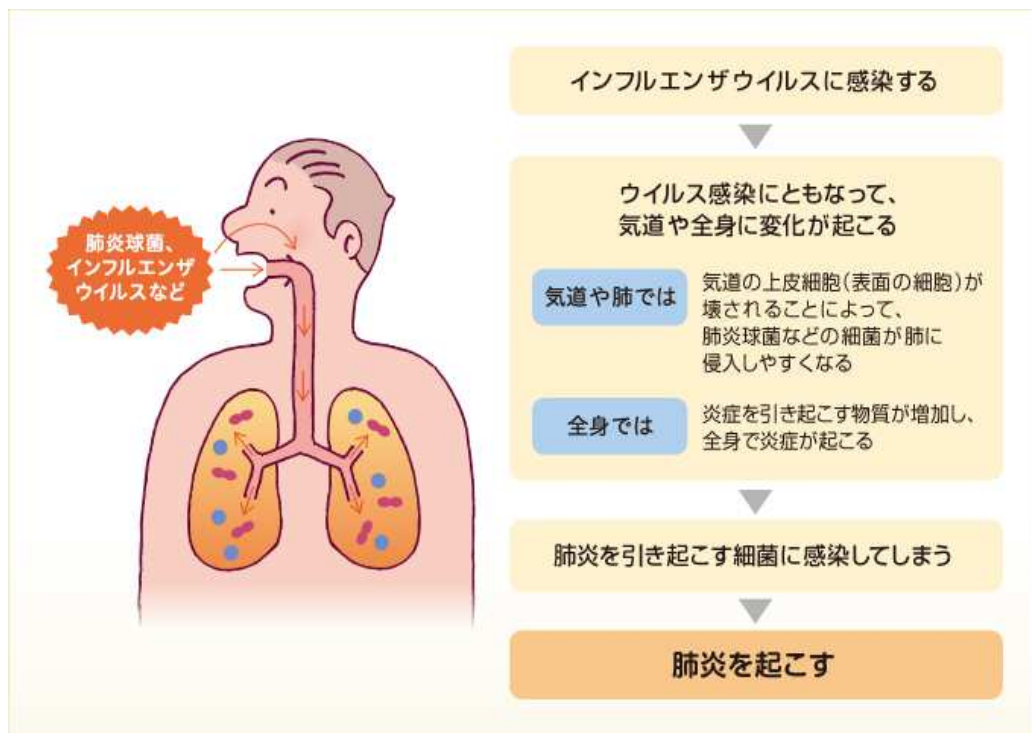


肺炎は、日本人の死因第3位だということをご存じですか？

しかも、肺炎により亡くなる方の95%以上は、65歳以上の方なのです。

肺炎と聞くと、「風邪をこじらせたらかかる」「冬に多い病気だろう」と思われている方も多いでしょう。しかし、肺炎は細菌やウイルスなどが、からだに入り込んで起こる肺の炎症で、その中でも肺炎の原因菌で最も多いのが、「肺炎球菌」です。

症状としては、発熱、咳や痰、息苦しさや胸の痛みなどがあげられます。からだの抵抗力(免疫力)が弱まったときなどに感染を起こしやすく、普段、元気に暮らしている方でも、持病の悪化や、体調不良などをきっかけに、感染する可能性のある病気なのです。



特にこれからの時期は、インフルエンザによって細菌性肺炎を起こす場合もあるので、風邪や季節性インフルエンザには注意したいですね。

肺炎の予防のために・・・

毎日の感染予防

- 手洗い、うがい
- マスクの着用
- 歯磨きなどによる口腔内の清潔

からだの免疫力を高める

- 喫煙者は禁煙を！
- 規則正しい生活をする
- 持病のコントロール

予防接種をうける

肺炎球菌ワクチン、インフルエンザワクチンを接種する

成人用肺炎球菌ワクチンとは

肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による肺炎などの感染症を予防し、重症化を防ぎます。

65歳以上の方や慢性の持病をお持ちの方などは、肺炎球菌ワクチンの接種が推奨されています。接種は、1年を通して、いつでも可能です。

一宮市では、75才以上の方、または60才以上で心臓、腎臓または呼吸機能障害、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫不全の機能障害で身体障害者手帳1級をお持ちの方、またはそれに相当する方は接種費用の公費助成が受けられます。